

未来に向かって ～明日に輝く犬山の子どもたち～

作詞：犬山市小学校児童
作曲：犬山こころの歌制作委員会

青い空見上げれば
ふるさとを見守る白帝城が光輝く
(今を生きるぼくらを見つめ)
みんなの心つないだら
楽しいことがふくらむよ
どんなときにも夢を見て
明日に向かって (みんなで) ダッシュ
未来に向かって (いっしょに) ダッシュ
わたしたちは同じ気持ち (互いの心を認め合って)
さあ胸を張って
未来へともに進んでいこう

緑の山いだかれて
きらきらと輝く入鹿池が心和ます
(過去から未来の架け橋)
みんなの心つないだら
苦しいことも分け合える
どんなときにも夢を追い
明日に向かって (みんなで) ステップ
未来に向かって (いっしょに) ステップ
わたしたちは同じ仲間 (互いの心を励まし合って)
さあ手と手をつないで
未来へともに歩んでいこう

ヒトツバタゴ咲きほこる
歴史と文化の犬山の地が人を育む
(生きる希望をふくらませ)
みんなの心つないだら
うれしいことがあふれ出す
どんなときにも夢をもち
明日に向かって (みんなで) ジャンプ
未来に向かって (いっしょに) ジャンプ
わたしたちはかたい絆 (互いの心を結び合って)
さあ輝く明日と
未来へともに翔び立とう

【コーダ共通歌詞】

光り輝く未来に向かって

コーダの歌詞はそれぞれの学校で、学校にふさわしい歌詞を付けて歌います。

() は、別バージョンのみ

「未来に向かって」の制作に携わって

犬山こころの歌制作委員会

犬山こころの歌制作委員会は、昨年度3月に発足いたしました。この委員会では、次のことを目標に掲げ制作することを確認しました。

- ・犬山市の子どもたちが主体となった曲づくりをしよう。
- ・子どもたちが自らを振り返り、未来へ希望を抱く詩にしよう。
- ・子どもたちの健やかで伸びやかな成長を抱かせる曲にしよう。
- ・いつまでも歌い継がれる歌に仕上げよう。

今年度4月、犬山市内の全小学校児童（4年生以上）が歌詞づくりに取り組みました。集められた歌詞を基に、歌詞制作委員会で、歌になる詩の制作が行われました。5月、子どもたちの希望や願いが込められ、犬山の誇りが感じられる詩ができあがりました。そして6月には、楽曲制作委員会で、曲づくりに取りかかりました。「子どもたちに歌詞の思いを沸き立たせる曲を創りたい」という思いから、曲想の違う2曲を創作しました。

7月、できあがった2曲を聴いて子どもたちが選ぶ「総選挙」を、すべての小学校で実施しました。そして、市内全体で集計して、本日披露する曲が選ばれました。

子どもたちの感性はとても豊かです。「未来を見つめ希望を抱く心」「仲間を大切にし、ともに成長していこうとする優しさ」「郷土を誇りに思い、大事にしていこうとする愛情」が歌詞に見事に表現されています。また、「総選挙」では、どちらの曲も自分たちの曲として真剣に受け止めて聴き、曲を選ぶことができる嬉しさと、自分たちの曲となる喜びを感じていました。そして、どの子も満足感と期待感に満ち溢れた表情をしているのに感心しました。

この曲は、「ともに進んでいこう」「ともに歩んでいこう」「ともに翔び立とう」の最後のフレーズに向けて、曲が盛り上がっていきます。子どもたちが未来へ向かって仲間とともに自分を輝かせようとする意気込みを、曲の中から味わっていただければ幸いです。

最後に、この曲が、本日発表した子どもたちから次の学年の子どもたちへ、そして後輩の仲間へ、さらに次の世代の子どもたちへと歌い継がれ、「犬山のこころをつなぐ歌」として、子どもたちとともに成長してくれることを期待します。